

# Network

ポピーの花言葉  
「いたわり」「思いやり」  
「恋の予感」「陽気で優しい」



## 2019年度ご挨拶

### 2019年4月から災害拠点病院としてスタートします

2019年度が始まりました。新元号で新たな時代の幕開けとなる今年度も引き続きよろしくごお願い申し上げます。

昨年度は特に冬場から年度末にかけて病床が不足気味となり、ご迷惑をおかけいたしました。自宅退院を目指して長期のリハビリテーションを要する場合や転院に日時を要する場合など、在院日数が伸びてしまうケースも多く、満床で入院をお受けできないことが増えました。後方連携をより強め、急性期の入院受け入れがスムーズにいくよう努めてまいります。

今年度の医師体制は、4月に広島大学の医局人事で外科と整形外科の常勤医師がそれぞれ2名ずつ交代し、当院としては久々の大異動になります。また、昨年度末に退職されました高永甲文男医師に続き、前院長で現理事長の青木克明医師が9月末で退職され東京に転居される予定です。長らく当院の発展に尽力された両先生ですが、健康に留意され新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。また、広島大学分子内科学（内科学第2）服部登教授のご高配にて呼吸器内科専門医の外來診療が火曜日午前に始まり、当院の呼吸器領域のレベルアップが期待されます。他科の非常勤専門医と合わせてご利用いただければ幸いです。

さて、当院はこの4月から災害拠点病院に指定されました。広島県で19病院目、広島圏域では6病院目となります。

災害拠点病院には次のような機能が求められています。

- ①多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度の診療機能
- ②被災地からのとりあえずの重症傷病者の受入れ

機能

- ③DMAT（Disaster Medical Assistance Team：災害派遣医療チーム）等の受入れ機能
  - ④傷病者等の受入れ及び搬出を行う広域搬送への対応機能
  - ⑤DMATの派遣機能
  - ⑥地域の医療機関への応急用資器材の貸出し機能
- 災害が多発し南海トラフ巨大地震の可能性も高まっている今、当院としては、「高度の診療機能」は十分とはいえませんが、「ハブ的機能」（重症患者等をいったん受入れて状態を安定化させた後に広域搬送する役割）を中心に役割を果たしていきたいと考えております。今年度以降、設備の充実、職員の教育等をさらに充実させていきます。7月28日（日）には日本災害医学会主催の災害セミナー（JADMS）を開催する予定としております。

日常診療では引き続き、救急医療、リハビリテーション、緩和ケア、およびヘルスプロモーションの4分野に重点をおいて取り組み、各診療科では総合性と専門性を追求した診療を行います。「在宅医療相談支援窓口」では、地域包括ケアとの接点として、在宅療養患者さんの入院や在宅医療に関する相談を継続して行ってまいります。

今年度が平穏であって欲しいと願いつつ、想定内外の様々な事象に対応する力をつけていきたいと思えます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。



広島共立病院 院長  
村田 裕彦

## 循環器内科

循環器内科医長 伊藤 尚志 医師

各医療機関の先生方ならびにスタッフの皆様、いつも大変お世話になっております。今回は当院の循環器内科につき紹介をさせていただきます。

循環器内科は現在、村田院長、鷹屋内科部長（総合内科と兼務）、わたくし伊藤、秦医師に加え、平成30年4月に赴任した山科医師の合計5名で診療を行っております。

診療は、虚血性心疾患と心不全を中心に循環器内科全般を行っております。冠動脈疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション、腎動脈狭窄を含む閉塞性動脈硬化症に対する経皮的末梢血管形成術、徐脈性不整脈に対する恒久的ペースメーカー植え込み術などの侵襲的治療件数が年々増加傾向です。まだまだ決して症例数は多くありませんが、一人ひとりの患者さんに対してその侵襲的治療の必要性も合併症のリスクも時間をかけて説明し、結果的に患者さんが後悔されないような方針を立てていくよう心掛けております。逆に緊急を要する場合は、近年充実してきたスタッフで即座に治療を開始しております。頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションにつきましては原則として近隣の専門病院に紹介させていただいております。

また、当院は安佐南区で唯一心臓リハビリテーション外来を行っている総合病院です。慢性心不全、虚血性心疾患および閉塞性動脈硬化症の患者さんの健康寿命や生活の質の改善において多くのエビデンスをもつ心臓リハビリテーションを平日午後に連日行っており、多くの患者さんが元気に通院されています。

外来での循環器疾患に対する検査では、ホル

ター心電図、24時間自由行動下血圧、ABI / CAVI、睡眠時無呼吸検査、心臓エコー、血管エコー（頸動脈、腎動脈、下肢動脈、下肢静脈）、運動負荷心電図（トレッドミル、エルゴメーター、心肺運動負荷試験）、冠動脈CTなど多岐にわたる検査を、ベテランのスタッフが対応しております。特に心臓エコーは大病院の検査室にも引けを取らないような精度の高い評価を行っております。オープン検査ですので先生方にお気軽にご利用いただければ幸いです。

2016年4月から開設した循環器ホットラインも、年々ご利用いただく機会が増えてきております。胸痛や動悸、息切れを自覚され緊急対応が必要な場合にお電話頂ければ、必ず循環器内科医が直接対応致します。また心電図所見など循環器疾患関連でお困りのことがあれば、簡単なことでもお気軽にご相談ください。

高度な医療レベルを維持しながら地域に根差した敷居の低い循環器内科を目指し、日々診療を行っております。今後ともよろしくお願いたします。



▲左上から伊藤、山科、秦、左下から鷹屋、村田

## 第6回 広島共立病院地域医療連携交流会

去る2019年3月2日(土)、リーガロイヤルホテル広島に於いて「第6回広島共立病院地域医療連携交流会」を開催いたしました。安佐地区の先生方73名にご臨席賜り交流を深めることができました。盛会の内に終えることができましたのも皆様の温かいご支援の賜物と深くお礼申し上げます。

### 来賓挨拶 ご挨拶の一部を掲載させていただきます。



#### 安佐医師会 会長 吉川 正哉 先生

平素から広島共立病院の先生方、職員の方には大変お世話になっております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。また第6回になります広島共立病院の地域医療連携交流会がこのように盛大に開かれますこと誠におめでとうございます。

最近日本全国非常に災害が多く、毎年のように発災しています。昨年7月の広島の高雨災害に関しましては早速7月12日にJMATを編成されまして医療支援に行っていただきました。そして昨年末にDMATを作られ、災害に強い病院ということで今後ともやっていただけるということで非常にありがたいと思っております。

もう一つは、2025年問題です。今、地域包括ケアシステムの構築といわれていますが、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、医療・介護、地域医療がそのような体制がとれるかということにかかってきます。広島共立病院、ここに来ておられる病院・各診療所の先生方と一緒に考えていきたいと思っております。



#### 安佐市民病院 院長 平林 直樹 先生

広島共立病院が40周年を迎えられたのが1年半程前、開院は1977年11月。安佐市民病院は1980年5月1日が開院ですので広島共立病院より少し後にできた病院ということになります。広島共立病院と安佐市民病院は3歳違いの兄弟と言っても良いのかもしれませんが、この40年の関係をいろいろ考えてみますと、お互いに切磋琢磨して病院機能を高め、病院完結型の医療を、40年のうち30年~35年くらいは一生懸命繰り広げてきました。しかしながら、地域医療構想の中で、もう病院完結型の医療はやめましょう、地域完結型の医療に転換していきましょうという話に世の中は進んでいます。お互いの機能を補完しながら、この安佐地区での医療を展開していく、あるいは守っていくことが必要ではないかと感じております。

こういう会を通じて皆さんとの交流を深め、そして顔の見える会を作ることが、この地域の医療を守ることにつながるのだらうと私は考えています。

第38回 特別講演  
2018年12月20日(木)

## 「“General Hospitalist”～期待される臨床力と育成のあり方～」

広島大学病院 総合内科・総合診療科  
教授 田妻 進先生



田妻 進先生

本講演ではGeneral Hospitalistを病院総合診療医・総合内科医と定義して、社会から期待される臨床力とその育成のあり方について述べた。医療現場におけるプライマリケアは施設環境によりその実像は異なるものの、担当する医療者に求められる初期診療スキルに大きな隔たりは無く、総合診療医と既存専門医の役割分担によって医療全体の底上げが望める。急速な専門分化と高齢化社会が留まることなく慢性的な医師不足感に拍車がかかる中、いかに総合診療専門医を育成して社会ニーズに添えていくのか、広島地域の基幹病院として意識を共有するべく私見をまじえて論じた。新・専門医制度元年を総括しつつ今後の進展を引き続き注視したい。

第39回 特別講演  
2019年1月23日(水)

## 「下肢スポーツ傷害の治療-アマチュアからプロ選手まで-」

広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 整形外科学  
教授 安達 伸生先生



安達 伸生先生

「スポーツ傷害」は一回の明らかな外力により生じる「スポーツ外傷」と慢性的な繰り返し負荷による「スポーツ障害」に大別される。荷重関節である下肢の膝関節や足関節ではスポーツ外傷およびスポーツ障害の頻度は高い。下肢関節のスポーツ傷害は多岐にわたるが、本発表ではスポーツ傷害の総論とともに各論ではオスグッドシュラッター病、膝前十字靭帯損傷などの代表的疾患について、病態考察、診断、保存的治療、手術的治療などについて述べた。また、野球やサッカーなどのプロスポーツ選手のメディカルサポート体制、スポーツ傷害治療について広島大学整形外科および広島大学病院スポーツ医科学センターでの経験を紹介した。

第40回 特別講演  
2019年2月13日(水)

## 「乳房再建・頭頸部再建から褥瘡治療まで ～超微小神経血管外科(スーパーマイクロサージェリー)の世界～」

広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター  
センター長 光嶋 勲先生



光嶋 勲先生

形成再建外科とは最近可能となった新しい外科の技術を用いて失われた体の復元修復を目的としたいろいろな外科手術を行う。生まれつきあるいは事故とか癌を取った後などに身体の一部が失われた患者さんに対して出来る限り正常に近い形と機能、動きや感覚を元通りに復元しようとする新しい外科である。手塚治虫のブラックジャックが専門とする領域である。そのような夢の外科手術がどこまで可能になったかということと同時に美容外科手術も含めて新しいトピックについて紹介した。



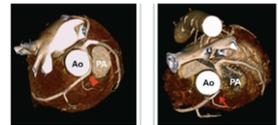
「マラソン中の心肺停止症例について」

広島共立病院 内科病棟医長 秦 亮嘉 医師



運動中の突然死の原因として、頻度は多くないが冠動脈起始異常がある。若年から壮年にかけての運動中の突然死の原因としては肥大型心筋症、心筋炎、冠動脈疾患（冠動脈起始異常、川崎病）、不整脈などがあるが米国では肥大型心筋症が最も多く、それについて冠動脈起始異常が多いと報告されている。剖検で初めて発見される例が多く実際治療に至る例はそう多くない。実際に我々が経験した症例を冠動脈 CT の所見を交えて報告した。また心筋リモデリング抑制におけるレニン・アンジオテンシン阻害剤の重要性について、そして心エコーにおいて左房容積係数が心不全発症の独立した予測因子となりうることを文献を交えて解説した。

マラソン中に心肺停止となった中年男性の症例



広島共立病院 循環器内科 秦 亮嘉

「せん妄について」

安佐病院 精神科 山本 和央 先生



せん妄は、入院中の患者さんに高頻度に出現する疾患である。症状が多彩であるため、診断に苦慮する症例もある。患者さんを直接診察する際に重要な症状は、注意力障害と見当識障害の二つである。これらに加えて、急激な発症、症状の日内変動、睡眠障害などを病棟スタッフの協力を得て確認することで、確定診断する。治療面

では、クエチアピン（糖尿病がある方は禁忌）は、専門外の先生でも比較的使用しやすい抗精神病薬である。不眠が改善するまで、25mgずつ増量していただきたい。適切な睡眠が確保された段階で、精神症状は全般的に改善する。診断が困難な場合や治療が上手くいかない場合は、精神科紹介をお願いしたい。

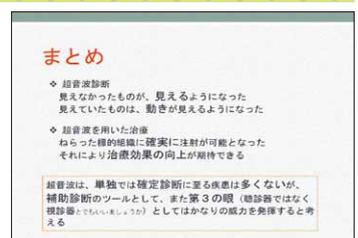


「エコーでいろいろやってみた〜診断からinterventionまで〜」

広島共立病院 整形外科医長 中林 昭裕 医師



近年、整形外科領域におけるエコーの活用は必須と なってきている。単独で確定診断に至る疾患は多くはないが、第3の眼として補助診断にはかなり有用である。エコーを用い診断に活用することは勿論であるが、さらにリアルタイムで軟部組織の状態が分かる強みを活かしてのintervention（注射）を行うことによって積極的な治療が可能である。エコーガイド下に標的組織に安全かつ正確に注射することでHydroreleaseや上下肢の伝達麻酔、サイレントマニピュレーション、神経根ブロックなど治療の幅が広がり患者に有益なものとなると考える。保険適応の疾患は多くはないが、まずは積極的にエコーを使ってみるこ とが臨床医としての向上に繋がると思われる。



**診療案内**  
(2019年4月版)

第2・第4土曜日を休診にさせていただきます。 **予約制** とは事前予約が必要です。 **予約可** とは予約無しでも受診可能です。

2019年4月	診療開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土	
健診	(市・被爆者・協会けんぽ等各種健診、人間ドック他) ①乳がん検診	午 前 <b>予約制</b>	桑原 ①青木	桑原 ①乳川口	廣川 ①青木	桑原・廣川 ①乳川口	桑原 ①青木	1.3.5週 古江 ①青木	
		午 後 <b>予約制</b>	①青木		古江	桑原 ①乳川口			
禁煙支援外来 被爆者外来	健診センターにて (担当医 青木)	再診のみ <b>予約制</b>		2時～健診外来 2時～4時30分 青木					
内 科  (当院に初めて受診される方は、予約制ではありません)	午前9時～11時30分	総合診療内科 <b>予約可</b>	山田・木村 舟木・高橋	吉國・ウオン 山田	山田・山科 中村(晴)・舟木	鷹屋・久保田 吉國・野田	山田・山科 舟木	1.3.5週 鷹屋・山田 舟木	
		総合診療内科 <b>予約制</b>		大谷					
		循環器内科 <b>予約制</b>	鷹屋・伊藤		鷹屋・村田		秦・村田		
		呼吸器内科 <b>予約可</b>		下地					
		消化器内科 <b>予約制</b>		加太・西原		西原・中村(真)	ウオン	1.3.5週 ウオン 中村(晴)・久保田	
	午後2時～4時30分	糖尿病内科 <b>予約制</b>	森下		森下		森下	1.3.5週 森下	
		総合診療内科 <b>予約制</b>		大谷					
		リウマチ科 <b>予約制</b>			舟木				
		午後5時～6時30分 (定期通院されている) 予約の方のみ	呼吸器内科 <b>予約制</b>				2.4週 木山		
			循環器内科 <b>予約制</b>				鷹屋		
消化器内科 <b>予約制</b>					西原				
糖尿病内科 <b>予約制</b>				森下					
脳神経内科	午前9時～11時30分/午後2時～4時30分	<b>予約制</b>	祢津						
精神科	午前9時～11時30分	<b>予約制</b>				山本			
緩和ケア内科	午前9時～11時30分	<b>予約制</b>				本家	加太		
	午後1時30分～4時30分	<b>予約制</b>							
リハビリテーション科	午前9時～11時30分	○理学・作業・言語・ 物理の各療法 <b>予約制</b>	○	○	木村○	澤○	○	1.3.5週 ○	
	午後1時30分～4時30分	<b>予約制</b>	○	○	○	○	○		
外 科	午前9時～11時30分 ※第3土曜日 (予約のみ)高永甲	<b>予約可</b>	大田垣 郷田	長嶺 中島	郷田	大田垣 中島	長嶺 郷田	1週 長嶺・郷田 3週 大田垣・中島 5週 交替	
	午後3時～4時30分	<b>予約可</b>							
乳腺外科	午後2時～4時30分	<b>予約可</b>					舛本		
心臓血管外科	午後2時～4時30分	<b>予約可</b>				片山/山根 交替			
脳外科	午後2時～4時30分	<b>予約制</b>					広島大学		
整形外科	午前9時～11時30分	<b>予約可</b>	市川・土井 濱西	田中 森	森 亀井	市川・田中 濱西	田中 土井	1週 土井・濱西(市川) 3週 田中・森 5週 市川・濱西	
	午後4時～6時30分	<b>予約可</b>		1.3.5週 市川 2.4週 濱西 土井		森 古田			
小児科	午前9時～11時30分	☐小児一般	☐友田	☐森下	☐友田	☐森下	☐友田	☐1.3.5週 森下 予吉岡	
	午後2時～3時	☑アレルギー <b>予約制</b>	☑友田	☑森下	☑友田	☑森下	☑友田		
	午後3時～4時30分	☑予防接種 <b>予約制</b>	☑友田	☑森下	☑友田	☑森下	☑友田		
	午後5時～6時	☑乳児健診 <b>予約制</b>	☑友田	☑森下	☑友田	☑森下	☑友田		
眼 科	午前9時～11時30分	カウンセリング <b>予約制</b>	太田・芳西			太田・芳西	太田・芳西		
	午後0時30分～5時	<b>予約可</b>							
泌尿器科	午前9時～11時30分	(月)(木)は午前9時30分～	広島大学		山崎	広島大学	山崎	1.3.5週 広島大学	
	午後2時～4時30分	<b>予約可</b>	広島大学		山崎	広島大学			
耳鼻いんこう科	午前9時～11時30分	<b>予約可</b>	大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	1.3.5週 大橋	
	午後3時～4時30分	<b>予約可</b>	大橋			大橋	大橋		
皮膚科	午前9時～11時30分	<b>予約可</b>	坂本	坂本	坂本	坂本	坂本	1.3.5週 坂本	
	午後2時～3時00分	<b>予約可</b>							
婦人科	午前9時～11時30分	初診(再診) <b>予約可</b>	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	1.3.5週 三田尾	
	午後2時～4時00分	子宮がん検診 <b>予約制</b>	三田尾	三田尾		三田尾			

**地域連携だより**

2019年3月16日をもって地域連携部長が久保田から村岡に交代致しました。村岡は外来看護師長としてしばらく兼務ですが、スタッフの体制も強化してまいりますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

**広島共立病院**  
**オープンカンファレンス**

※会場は全て、広島共立病院 5階セミナールームです

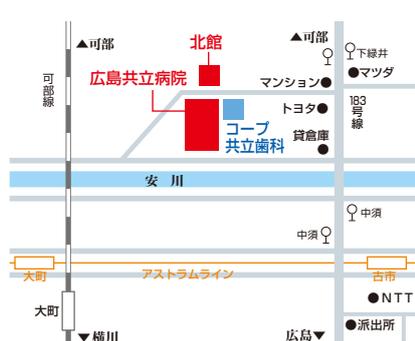
- とき: 2019年4月5日(金) 19:00～
- 内容: 第43回特別講演 「C型肝炎の最新治療」
- 講師: 広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰先生

---

- とき: 2019年5月22日(水) 19:00～
- 内容: 第44回特別講演
- 講師: 広島大学病院 呼吸器内科 教授 服部 登先生

---

- とき: 2019年6月12日(水) 19:00～
- 内容: 第46回安川河畔カンファレンス (YRC)3演題



Japan Council for Quality Health Care  
日本医療機能評価機構

ISO 9001  
BUREAU VERITAS  
Certification

広島医療生活協同組合  
**広島共立病院**

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20  
TEL.082-879-1111(代)

URL <http://www.hiroshimairyo.or.jp>  
E-mail [kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp](mailto:kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp)